

同志社大学

2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 2月 16日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	教授	竹原 卓真
研 究 題 目	二次・三次感情連想語の頻度分布及びスモールワールド性と不安の高低との関連	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2015年度は本研究課題を遂行すべく、春学期に大規模データを収集した。具体的には、本学を含めた10の大学教員に依頼をして、感情連想語および不安尺度のデータを収集し、総計5000サンプルを超えるデータが集まった。夏頃に学部予算にてビッグデータ解析専用コンピュータを購入してもらって、現在はその解析作業を鋭意継続している。進捗具合は全体の7割ほどが終了したと考えている。本来ならこの時期に解析終了していなければならないが、5000サンプルから得られる単語データが13万以上あることや、不安尺度データも10万近くにのぼることから、いささか解析に時間を要している。しかしながら、本年度までに収集したデータを2015年夏に3つの国際学会（International Society for Research on Emotions; Society for Chaos Theory, Psychology, and Life Sciences; European Conference on Visual Perception）にて研究発表することができ、研究は大いに進んだ年度でもある。</p>	